



焼津水産化学工業

上場会社名	焼津水産化学工業株式会社
代表者名	代表取締役社長 坂井和男
コード番号	2812
上場取引場所	東証 1 部
本社所在地	静岡県焼津市小川新町 5 丁目 8 番 13 号
静岡本部	静岡県静岡市駿河区南町 11 - 1 - 6F TEL:054-202-6030 FAX:054-202-6031

痛みや違和感を覚える人が全体の 56.1%
そのうちの半数は治療も予防もしていない！

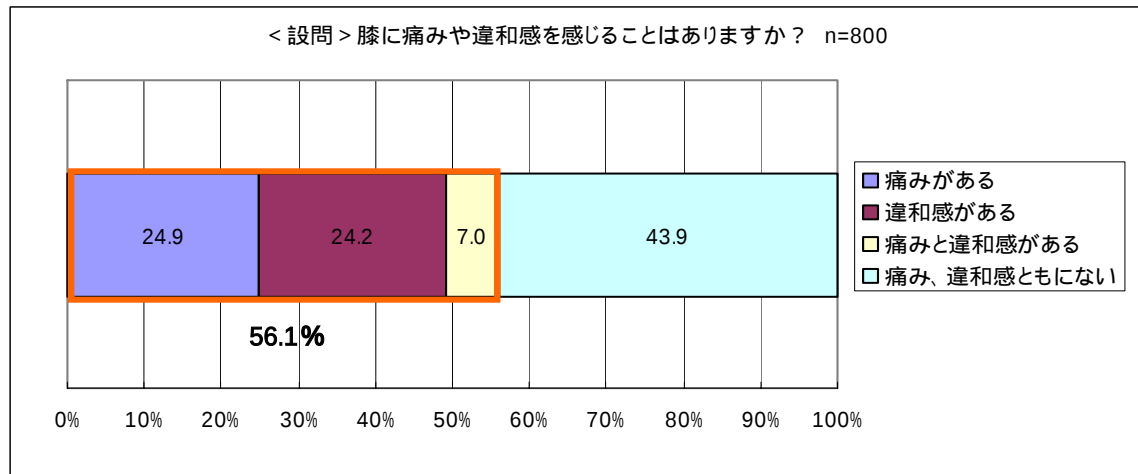
当社はひざ関節痛の緩和に効果的な役割を果たす機能性素材「N-アセチルグルコサミン」の製造を行う食品素材メーカーですが、ひざの痛みを訴える人々の実態を知ろうと今回の調査を実施しました。その結果、次のような興味ある実態が浮き彫りになりましたので、資料提供させていただきます。

ひざに痛みや違和感を覚える人は 56.1%
 そのうち「治療も予防もしていない人」は 47.7% に上る
 60 歳代の「治療も予防もしない理由」の第 1 位は「年をとると仕方がないから」
 ひざに痛みを感じる人は、女性が男性の約 1.2 倍
 60 歳代では女性は男性の 1.5 倍
 肥満度が高いほど、ひざを痛めている人の割合が多い
 「痩せている人」に比べ「高度肥満の人」は約 1.7 倍
 ひざが痛むのは季節と関係ない

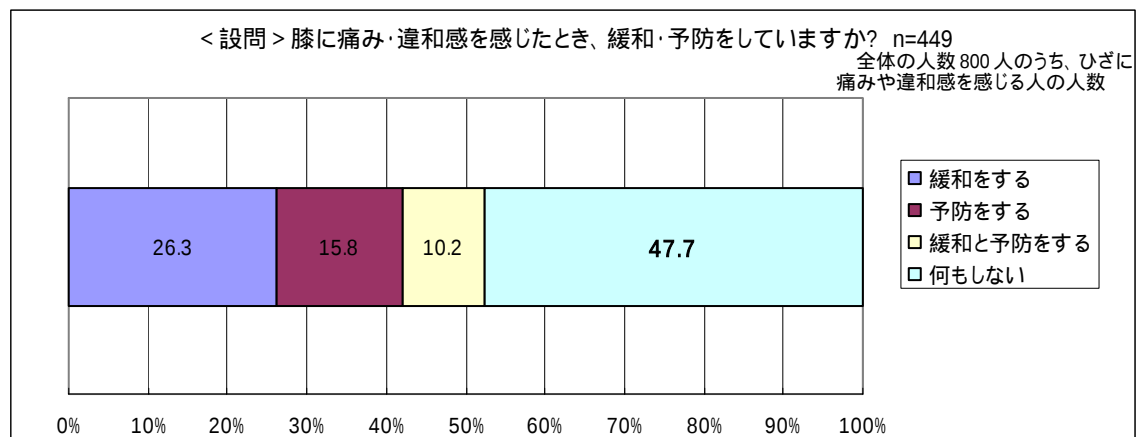
ひざに痛みや違和感を覚える人は 56.1% < 基礎データ 参照 >
 そのうち「治療も予防もしていない人」は 47.7% < 基礎データ 参照 >
 60 歳代の「治療も予防もしない理由」の第 1 位は「年をとると仕方がないから」
 < 基礎データ 参照 >

この「ひざの痛みや違和感を感じる」と答えた人に、さらに「緩和あるいは予防をしていますか?」と質問したところ、「緩和をする」26.3%、「予防をする」15.8%、「緩和と予防をする」10.2%だったのに対し、「何もしない」が47.7%もあり、人々のひざの痛みを治療する意識がかなり低いレベルにあることが伺えました(図表B参照)。

[図表 A]



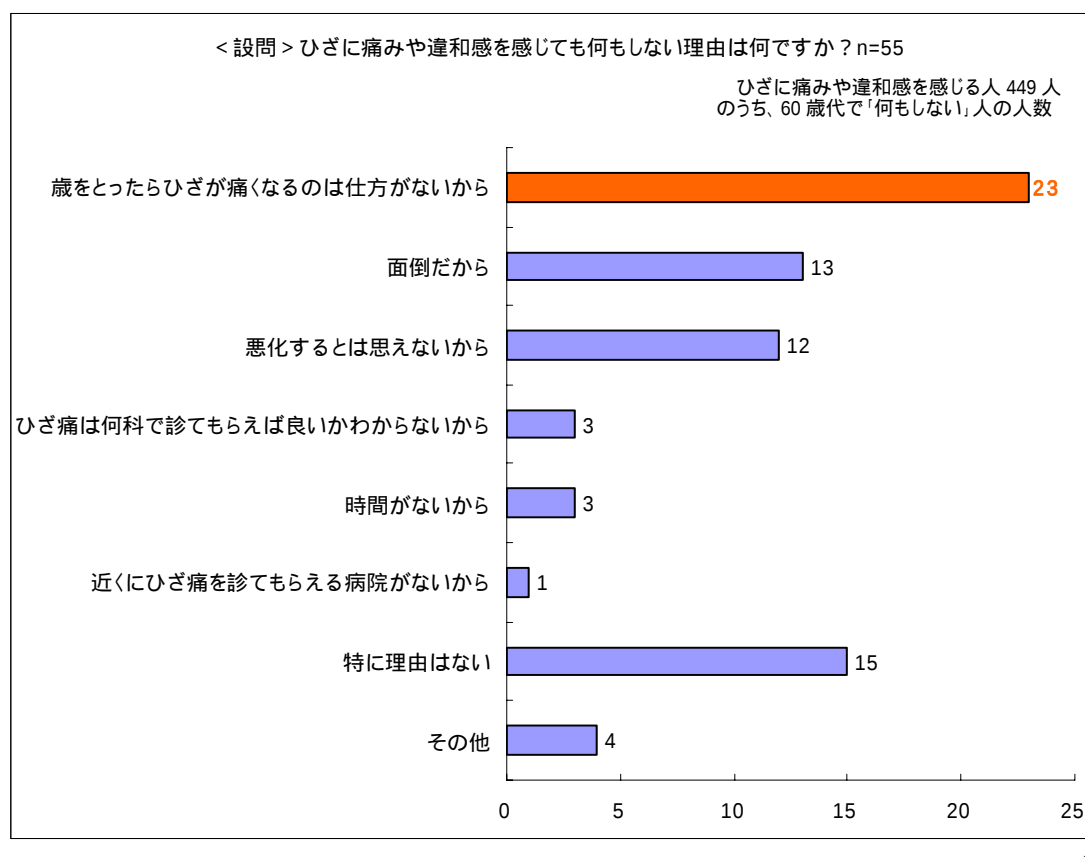
[図表 B]



さらに、ひざに痛みや違和感を覚える 60 歳代に「何もしない理由」を尋ねたところ、「年を取ったらひざが痛くなるのは仕方がないから」と答えた人が 55 人中 23 人(41.8 %)で、「何もしない理由」の第 1 位となり、この年代層の多くの人たちが“あきらめ”の状態になっていることが分かりました。(図表 C 参照)

ひざ関節の専門家である福岡重雄医師（静岡リウマチ整形外科リハビリ病院、サッカーJリーグ・清水エスパルスチームドクター）は、「半数以上の人々が“痛み”もしくは“違和感”を感じているという結果に驚いています。さらに、60 代の人たちの多くが、ひざの痛いのは『仕方がないことだ』と諦めてしまっていることは残念です。適度の運動と体重管理を心がけ、効果的な機能性食品などを利用することにより、早めに対策を取ることが肝心です。ひざ関節痛は放置して悪化させてしまうと、元には戻せなくなります」と話しています。

[図表 C]



ひざに痛みを感じる人は、女性が男性の約 1.2 倍

60 歳代では女性は男性の 1.5 倍

＜基礎データ 参照＞

ひざの痛み・違和感の調査結果を男女別に見ると、ひざに痛みを覚える女性の割合（35.0%¹）は、男性（28.8%¹）よりも約 1.2 倍多く、特に 60 歳代では女性（45.0%¹）は、男性（30.0%¹）の 1.5 倍になっています。一般的に、女性のほうが変形性ひざ関節症²の発症が多いといわれていますが、この結果は、それを裏付けるものとなりました。

1 いずれも基礎データ の「痛みを感じる」と「痛みと違和感を感じる」の合計

2 変形性ひざ関節症は、中高年に多いひざの病気です。加齢とともに骨の表面を覆っている関節軟骨が劣化して磨り減り、骨同士が直接ぶつかり合って炎症を起こし、腫れや痛みなどの症状が出ます。

肥満度が高いほど、ひざを痛めている人の割合が多い

＜基礎データ 参照＞

「標準の人」に比べて「高度肥満の人」は約 1.4 倍

「痩せている人」に比べて「高度肥満の人」は約 1.7 倍

肥満とひざ痛との関係は常識的には“太っているほどひざ痛の人は多い”といわれていますが、これを確かめるために肥満度とひざ痛との関係を調査しました。その結果、肥満度が高くなるほど、ひざの痛い人が多くなることが確かめられました。

肥満度を判定する方法として BMI 値(Body Mass Index：ボディ・マス・インデックス＝体重÷身長²) という手法があります。BMI 値は 4 段階あり、「やせている人は（18.5 未満）」、「標準タイプ（18.5～25 未満）」、「肥満タイプ（25～30 未満）」、「高度肥満（30 以上）」に分かれています。今回の調査では、調査対象者に身長と体重を入力してもらい数値を算出し、4 段階の肥満度で「ひざに痛みを感じる」割合の変化を調べました。

これによると、痩せている人で「痛みを感じる」ケースは 26.2%（痩せている人 61 人中 16 人）でしたが、標準タイプは 30.7%（標準の人 566 人中 174 人）、肥満タイプ 36.8%（肥満の人 155 人中 57 人）、高度肥満 44.4%（高度肥満の人 18 人中 8 人）と、肥満の程度が高くなるにつれて、痛みを感じる人は増えています（図表 D 参照）。

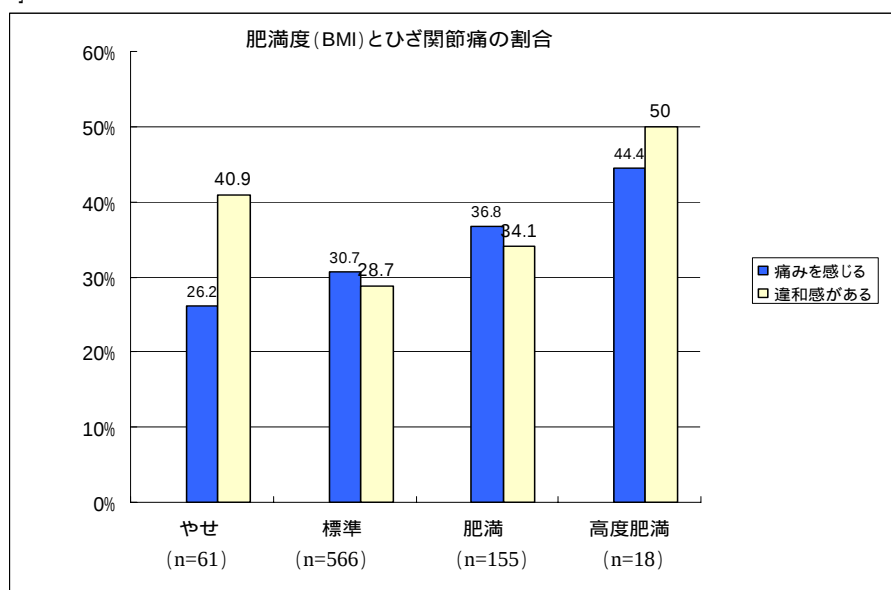
ひざ軟骨の劣化は、老化だけが原因ではなく、肥満によるひざへの負担のかけすぎも原因のひとつに挙げられています。今回の調査でも、高度肥満だと半数近く（44.4%）がひざに痛みを抱え、体重が重くなるほどひざへの負担が大きくなることが明らかになりました。

また、「違和感がある」では、痩せている人（40.9%）の方が、標準（28.7%）や肥満（34.1%）よりも高いことがわかります（図表 D 参照）。この理由ははっきりしませんが、若い時からの骨軟骨への栄養分の摂取不足などが関係しているとも考えられています。

ひざ関節の専門家である福岡重雄医師（静岡リウマチ整形外科リハビリ病院、サッカーリーグ・清水エスパルスチームドクター）は、「一般的に肥満の人は、ひざに痛みを感じ易い傾向にありますが、一度痛みを感じてしまうと、それが一時的な炎症によるものであっても、外出や運動を控えてしまいがちになります。そうすると肥満を一層助長し、さらにひざに負担をかけるという悪循環に陥ります。ひざの痛みを一つの警告と考えて、軽い痛みのうちに適度な運動と体重管理を心がけ、効果的な機能性食品などを利用することにより、ひざの痛みを軽くして肥満を抑え、さらには生活習慣病を予防したいものです」と話しています。

BMI(Body Mass Index：ボディ・マス・インデックス)は、肥満度を判定する方法のひとつです。BMI 値の標準値は 22.0 となり、これは統計的にみて最も病気にかかりにくい体型で、標準から離れるほど有病率は高くなります。

[図表 D]



ひざが痛むのは季節と関係ない <基礎データ 参照>

ひざの痛み・違和感と季節の関係を調べようと、「どの季節にひざの痛みや違和感を覚えませんか?」と尋ねました。（複数回答）

結果は、「季節に関係ない」が 54.6%と過半数を超え、「季節の変わり目」26.1%、「冬」21.8%、「梅雨時」17.1%の順となりました。

昔から、ひざの痛みは梅雨時や冬の寒さが厳しいときに起こるもの、とこれまで一般的に考えられてきました。しかし今回の調査によると、「季節の変わり目」や「冬」が多いながらも、「季節に関係ない」が断然トップで、特定の季節に集中するという結果になりませんでした。

< 調査概要 >

対 象：国内に居住する 30 歳代～60 歳代の男女 800 名
各年代の男女 200 人（男性 100 人、女性 100 人）

実施方法：インターネット調査

実施期間：2006 年 4 月 14 日～18 日